

平成16年3月3日 <142号>

神奈川県水産総合研究所

〒238-0237 三浦市三崎町城ヶ島養老子

TEL 046-882-2311 FAX 046-881-7903

<http://www.agri.pref.kanagawa.jp/suisoken/>

同 相模湾試験場

〒250-0021 小田原市早川 1-2-1

TEL 0465-23-8531 FAX 0465-23-8532

同 内水面試験場

〒229-1135 相模原市大島 3657

TEL 042-763-2007 FAX 042-763-6254

編集：神奈川県水産総合研究所 広報部会

2004.VOL1

水総研情報

**クロアナゴ****アマモの花の枝採取****魚の箸置きコレクション****小田原さかなセンター**

メルマガでご紹介してきた記事の写真

水産総合研究所では、2003年7月より、水総研メールマガジンを発行しています。
研究所の裏話や神奈川県の漁業のこと等、毎週金曜日メールでお届けしています。

- 水総研メールマガジン特集

水総研メールマガジンとは

目的

水産総合研究所と聞いて、何を研究しているところか、すぐにわかる方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。想像もつかない、という方の方が多いかもしれません。

水総研メールマガジンは研究所のこと、我々が取り組んでいること、また神奈川の漁業の現場について、まず興味を持っていただければ、という思いではじめたものです。

今までも、ホームページや年2回発行のこの「水総研情報」で、様々なことをお伝えしてきていますが、さらに深くまた、高い頻度で情報を発信したいとの思いから「メールマガジン形式」を発売し、毎週金曜日に発行するというスタイルにいたしました。



漁師の方々にもお話を伺います(写真: 逗子市小坪漁港)

そしてこれから

イベント等でアンケートを行いますと、神奈川で漁業が行われていることを「よく知っている」と回答される方は3割にすぎません。あとの7割は「なんとなく知っている」、「ほとんど知らない」、「全く知らない」という方々です。

確かに、スーパーや魚屋に並ぶ魚介類は見ることはあっても、実際に操業を行っている様子はなかなか知ることができません。また、どのような漁師がいるのか、あるいはどのような取り組みが行われているのか等も同様です。

しかし、実際に生産の現場に伺うと、一番おもしろいのは、その人となり、歴史であったりするわけです。

今後も、実際に水揚げされる魚のこと、魚料理のことや、操業の様子等、「漁師」からの生の声も含めた「漁業の現場」のことをお伝えしていきたいと考えております。



実際に現場で取材しています(写真: 真鶴町岩漁港)

記事の内容

重要なことは、皆様にお伝えしていく内容です

研究報告や業務内容については、ホームページにも掲載されておりますし、公文書として閲覧することができます。しかし、内容はどうしても専門的なものとなり、馴染みのないものになりがちです。

そのため、メールマガジンでは報告書にはなりにくい、研究の裏話や現場の情報を重視することとしました。

具体的には、毎号持ち回りで研究員2名ずつが書き下ろしたコラムと、漁業協同組合等への取材に基づく、現場の情報を掲載することとしました。

できる限り記事に関連する写真もあわせて掲載し、読んだ記事の理解を深めていただけるようにと考えています。



イベント情報もお伝えします(写真: かながわおさかな週間)

(企画経営部 小川 砂郎)

記事からの紹介

さかなグッズコレクション

ネクタイについて

前回のコレクション紹介がネクタイピンでありましたから、今回はご本体のネクタイを取り上げます。

実は、魚をデザインしたネクタイは、意外と少ないのです。ネクタイピンを見つけるより、ご本体を探し出す方が何倍も労を要しますね。



さかな柄のネクタイ (VOL.19で紹介)

一般の洋品店、デパート、駅の売店などにネクタイがぶら下がっているのが眼に入ると、素通りできません。漁り始めるわけですが、これが結構手間どります。

夢中で探していると、その店員(多くは女性です)が、「この客は冷やかしじゃないな」と思うのでしょうか、必ずすり寄ってきます。

「どのような柄がお好みですか？」

「柄じゃないの。魚なの。」

「えッ、サ・カ・ナ？」キョトンとします。

「そう、魚をデザインしたのある？どん何でもいいんだけど。」

それから二人で、ネクタイ林に分け入って漁り方を続行するわけですが、このようなケースの時は大抵、期待できません。

だって、私の方が探索眼、探索感には年季が入っていますからね。時には「お客さん、ありましたよ！」と嬉々としてネクタイを持ってきてくれるのですが、デザインを見るとシャチャクジラだったりします。



さかなのネクタイピン(VOL.9で紹介)

「これ、魚じゃないんだけど。哺乳類。」

「クジラって魚じゃないんですか...？」キョトンとします。

私としてはコレクターのポリシーを貫き通します。

輸入品専門のネクタイ屋か水族館などのグッズショップがねらい目です。

なぜ、さかなのデザインのネクタイが少ないのか？

答えは、売れないのでしょう。そんなネクタイをしている人って見かける？



さかなの筆置き(VOL.30で紹介)

(資源環境部 亀井 正法)

水総研メールマガジン VOL.019 2003-11-14号より

登録方法、バックナンバー等

【水総研メルマガの登録方法】

fish.415@pref.kanagawa.jp あてに、空メールをお送りいただくだけです。

詳細は、下記のURLをご参照ください。バックナンバーも掲載してあります。

<http://www.agri.pref.kanagawa.jp/suisoken/mailmag/>

お問い合わせ先：電話 046(882)2312 fax046(881)7903 神奈川県水産総合研究所企画経営部

【バックナンバー】全てホームページからご覧いただけます。

- 2004-02-27 no033・地道なアユの調査 / 小田原さかなセンター誕生と波及効果 / 漁協紹介第20回
- 2004-02-20 no032・沿岸調査用ボート「第二珠丸」の引退 / 膨れる、鳴く、潜る、眠る魚「トラフグ」
- 2004-02-13 no031・マダイの標識 / 種苗生産を支える名脇役(3) / 漁協紹介第19回
- 2004-02-06 no030・「さかなグッズ」コレクション(その3) 箸置きについて / さざえ・とこぶし・あわびの餌 / 漁協紹介第18回
- 2004-01-30 no029・シラス試験操業 / 船酔いと戦い! と学生時代の貴重な体験 / 漁協紹介第17回
- 2004-01-23 no028・カタクチイワシの利用法 / ヒラメの糞 / 漁協紹介第16回
- 2004-01-16 no027・アワビの産卵状況調査 / 魚の王様をいかにして食らうか? / 漁協紹介第15回
- 2004-01-09 no026・新春のごあいさつ(所長) / 水総研職員のある一日 / 城ヶ島の自然 / 漁協紹介第14回
- 2003-12-26 no025・20歳を迎えた放流マダイ / 漁海況予報、スーパーコンピュータに勝つ? / 漁協紹介第13回
- 2003-12-19 no024・ヌタウナギのこと / 干潟の効用 / 漁協紹介第12回
- 2003-12-12 no023・漁協紹介の取材の裏側 / 市民の方々とアマモの種まきをしました / 漁協紹介第11回
- 2003-12-05 no022・絶滅危惧種の淡水魚ギバチ・内水面試験場の生態試験池で繁殖 / 定置網漁業で大切なこと / 漁協紹介第10回
- 2003-11-28 no021・おちょぼ口の憎き奴「カワハギ」 / 栽培漁業の進む方向 / 漁協紹介第9回
- 2003-11-21 no020・地震と水産 / 種苗生産を支える名脇役(2) / 漁協紹介第8回
- 2003-11-14 no019・「さかなグッズ」コレクション(その2) ネクタイについて / あわびとさざえは親戚どうし? / 漁協紹介第7回
- 2003-11-07 no018・カタクチイワシを食べよう! / 化学物質と魚介類の関係について思うこと / 漁協紹介第6回
- 2003-10-31 no017・巨大あなごを食べてみました。 / 死魚は語る
- 2003-10-24 no016・魚にも身体検査? / 釣りはバチンコと似て非なるものか? / 漁協紹介第5回
- 2003-10-17 no015・三崎港に珍客来遊 / 時化(しけ)の前は良く釣れる / 漁協紹介第4回
- 2003-10-10 no014・「知っていますか? 神奈川の魚」のポスター / アワビの"歯" / 漁協紹介第3回
- 2003-10-03 no013・相模湾のマアナゴ調査 / 三崎瀬戸の魚たち / 漁協紹介第2回
- 2003-09-26 no012・湘南ビーチで投網打ち(放流ヒラメの追跡調査) / 漁協紹介第1回
- 2003-09-19 no011・生類憐みの令で「釣り」も禁止されていた / マダイを見に来ませんか
- 2003-09-12 no010・種苗生産を支える名脇役(1) / 愛嬌顔の優雅な魚「アカアマダイ」
- 2003-09-05 no009・「さかなグッズ」コレクションについて(その1) / 食文化を考えよう
- 2003-08-29 no008・海の中にどれくらい酸素があれば魚が生きていけるのか / さざえが泳ぐって知っていましたか
- 2003-08-22 no007・マイワシ何処へ / 薬事法の一部改正について
- 2003-08-15 no006・岩礁域で稚子魚を捕まえる難しさ / イカから出た白い糸
- 2003-08-08 no005・今が旬の魚貝類 / 漁業ほど先進的な産業はない
- 2003-08-01 no004・サバを生で食べたことがありますか? / 一都三県漁海況速報について
- 2003-07-25 no003・アワビの初期生態調査を始めました / ホームページの海況コンテンツの舞台裏
- 2003-07-18 no002・相模湾のマグロ / 今が旬! 東京湾のマアナゴ
- 2003-07-11 no001・釣り船の調査も行っています / 県民参加でアマモ種子の生産始まる

【神奈川県の漁協紹介】すべて実際に取材を行っています。

- | | | | |
|------|--------------|------|------------------|
| 第1回 | 大磯町漁業協同組合 | 第11回 | 福浦漁業協同組合 |
| 第2回 | 横須賀市東部漁業協同組合 | 第12回 | みうら漁業協同組合 |
| 第3回 | 江の島片瀬漁業協同組合 | 第13回 | 横須賀市東部漁協浦賀久比里支所 |
| 第4回 | 茅ヶ崎市漁業協同組合 | 第14回 | 小田原市漁業協同組合 |
| 第5回 | 平塚市漁業協同組合 | 第15回 | 横須賀市東部漁協久里浜支所 |
| 第6回 | 葉山町漁業協同組合 | 第16回 | 長井町漁業協同組合 |
| 第7回 | 腰越漁業協同組合 | 第17回 | 二宮町漁業協同組合 |
| 第8回 | 横須賀市大楠漁業協同組合 | 第18回 | 真鶴町漁業協同組合 |
| 第9回 | 小坪漁業協同組合 | 第19回 | 諸磯漁業協同組合 |
| 第10回 | 岩漁業協同組合 | 第20回 | 藤沢市漁業協同組合 (続きます) |